

ワークライフバランス推進事業【奈良市】

総事業費	360 千円
交付金額	180 千円

地域の実情と課題

- ・結婚や出産を機に離職する女性が多く、都道府県別に見ても、年齢階級別就業率（M字カーブ）は全国でも下位である。
- ・労働力人口の減少および高齢化により、企業の人材確保や定着について課題を抱える企業が数多く存在する。

目的・目標

企業がこれからの時代を生き抜くために取り組むべき経営戦略としてのワークライフバランスの実現に向け、意識啓発を促す事業とした。

参加企業数目標6社に対し3社（介護法人2社、メディア関連企業1社）の参加となった。

事業の特徴

- ・職場環境改善や多様な働き方の実現に積極的な企業に対して、働き方改革の分野に携わる講師（社会保険労務士）を派遣する伴走型支援とした。
- ・1社あたり6回程度の訪問の中で、企業の実情の把握や課題分析、課題解決に向けた目標設定のフォローアップを行い、今後の継続的な自走にむけた仕組み作りの伴走型支援を行った。

連携団体

- ・奈良市企業人権教育推進協議会
- ・雇用促進連絡協議会
- ・木津川市
- ・奈良市介護福祉課

上記の団体と連携し、会員や地元企業への事業周知を実施した。

事業の効果

- ・職場環境改善や多様な働き方の実現に積極的な市内企業3社へコンサルタントの派遣を行い、各企業に応じた取組の伴走型支援を行った。参加企業からは「次年度も当事業を継続してほしい」との声も頂き、企業のワークライフバランス推進の機運醸成の一助となった。
- ・魅力ある職場づくりのためのワーキンググループ発足に向けた管理職・一般職員向け研修や、職員向けアンケートの分析による課題の把握や目標設定などのフォローを行った。

今後の課題

- ・参加企業数の定量的目標（6社）の達成には至らず、企業に発信力を持つ経済団体等、協力先のさらなる開拓が必要である。
- ・市内企業の先進事例を収集、広く発信し、互いに学び合う機運を醸成していくことが重要である。

事業者向けワークライフバランス推進コンサルタント派遣事業の実施

企業のワーク・ライフ・バランス（以下「WLB」）の取組推進は、従業員の就業への満足度や労働意欲の向上、企業の業績や生産性の向上を図り企業の魅力をアップさせ、多様な人材が活躍できる環境の構築に繋がる。本事業では、職場環境改善や多様な働き方の実現に積極的な企業に対してWLB推進コンサルタントの派遣を行い、各企業に見合った取組の支援を行う。

事前ヒアリング

コンサルタントが初回訪問し企業の実情の把握を行う。

課題分析

事前ヒアリングを基に、各企業の課題の分析・把握を行う。

目標設定・実践

課題の解決に向けた適切な目標設定や計画策定を行う。

フォローアップ

計画の進捗状況の確認や今後の自走に向けたフォローを行う。

A社（介護法人）

「取組テーマ」 「人事・労働保険・社会保険の進め方」

「コンサル実績」

- ・事業拡大を見据えた新規雇用人材との適正な雇用契約や労務管理についての相談
- ・労働保険適用案件における手続き方法について相談
- ・新しい人材を雇い入れる場合の契約方法について相談

「コンサルタント」

Office Kitaba 代表 北場 好美 氏

- 特定社会保険労務士
- ワーク・ライフ・バランスコンサルタント



B社（メディア関連）

「取組テーマ」 「従業員が選択できる多様で柔軟な働き方の実現に向けた職場環境整備」

「コンサル実績」

- ・課題の共有・分析、目標のすり合わせ
➡社員を対象とした「働き方改革セミナー」を実施希望
- ・セミナー内容の方向性の確認
- ・“育児介護休業法の改正”と“ハラスメント防止”について、管理職向けと一般職員向けの2部構成でセミナーを実施



C社（介護法人）

「取組テーマ」 「働きやすい職場（風土）作りに向けて」

「コンサル実績」

- ・課題のすり合わせ
➡働きやすい職場づくりのために現在検討している「家族参観制度」以外に、何か取り入れられるものがないか？を討論
➡課題や従業員が日頃感じている課題を知るために、アンケート調査を実施することに決定。
- ・アンケート調査・分析の結果共有
- ・“人材採用・育成”、“職場環境・組織風土”、“評価・報酬”について、管理職向けと一般職員向けの2部構成でセミナーを実施

